ジュニアミュージアム

「ありがとう！運動会」

三沢小6年　木内　菜々（なな）さん

「なんであの時、手を挙げてしまったのだろう。」

九月二十一日に行われた運動会は、大成功に終わった。しかし、そのぶたいの裏には、たくさんなやみ、たくさん考え、そして優勝に導いた、六年生の姿があった。

一学期。私はチアリーダーに立候ほし、みごとチアリーダーに選ばれた。その時は、安易な考えで立候ほしたけれど、ひき受けてみると、そんな簡単なものではなかった。まず応援歌を決め、次に歌詞を考えなければならない。歌詞を考える時は、本当に苦労した。難しい言葉を入れたり、たくさんの言葉を入れたりすると、下級生がこんらんしてしまう。だが、同じ言葉をくり返すだけでは、つまらなくなってしまう。運動会の応援は、難易度が高いほど燃えてくる。そう思い、少しだけ難しくしてみたものの、やはり下級生にはちんぷんかんぷんなようだった。私達応援団が一生懸命考えても、低学年の子達にはわかってもらえない。「いやだ。チアリーダーなんてやりたくない。なんであの時手を挙げてしまったのだろう。」とても後かいした。でも、団長の力弥君、副団長の和志君達が、一生懸命に歌ってくれたおかげで、低学年の子達も、リズムにのってくれるようになった。私は、支えてくれる仲間がいることを忘れていた。どんなことでも、一人でなやんではいけない。みんなで考えれば、きっと前へ進める。だから、誰かがなやんでいる時も、一緒に考えてあげようと思う。前向きになった私は、応援歌のふりつけを教える時も、あせらず、ゆっくりと教えていった。私があわてていたら、みんなもあわててしまうから。その結果、本番では失敗せず、すばらしいパフォーマンスができたと思う。そして、白組は心を一つにし、全ての競技に全力で取り組み、優勝を手に入れた。

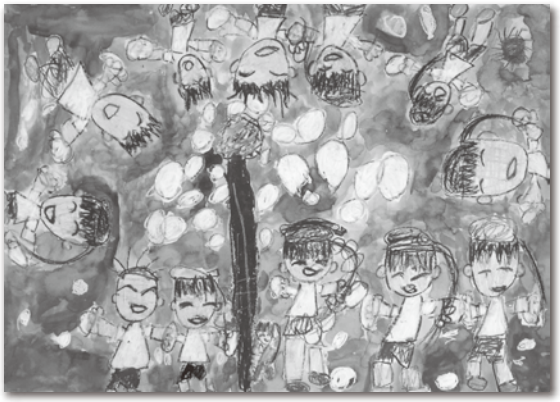
最初は自信をなくし、あきらめかけていたチアリーダー。でも、白組、赤組の支えのおかげで、乗りこえることができた。チアリーダーになってよかった。一緒に戦ってくれた白組のみんな、支えてくれた赤組のみんな、最高の運動会を、どうもありがとう。

（評）菜々さん、運動会を通じて成長したんだね。がんばったね！

「うれしい。かったぞ！たまいれ」

皆野小1年　蓼沼　美紅（みく）さん

（評）運動会の玉入れ、みんなで力を合わせて頑張りましたね。楽しそうな様子が伝わってきます。



皆野小3年　木村　匠汰（しょうた）くん

（評）力強くていねいに書けています。

国神小6年　木村　綺美（あみ）さん

（評）字配りに気をつけて、ていねいな筆づかいでしっかり書いています。

「椋神社」

皆野中3年　飯田　朋也（ともや）くん

（本人のコメント）

椋神社は、毎年家族で初もうでに行く親しみのある神社です。伝統のある建物やまわりの自然をていねいに描きました。